

2022年9月20日

保育所、幼稚園、認定こども園及び特別支援学校幼稚部における
バス送迎に当たっての安全管理の徹底に関する関係府省会議

悲しい事故を繰り返さないために

一般社団法人吉川慎之介記念基金
代表理事 吉川優子



元気な子どもが
ある日、突然亡くなるということ・・・

不運で仕方ない悲しい出来事ではありません。

「繰り返さないで。」

「事故は予防できる、予防しよう。」

「子どもを守ってほしい。」



亡くなったすべての子どもたちからのメッセージだと思います。

事故の教訓をいかすために・・・

個人的な問題ではなく公的な問題として、

地域、社会全体で、事実と向き合い
誰もが参加できるかたちで
事故の再発防止、未然防止の取組を進めることができる
環境デザインが大切だと思います。

そして、ある日突然、
大切な命が失われた事実に直面した時
深い悲しみや喪失と向き合えるように
一人一人に
グリーフ(悲嘆)の理解が深まることを願います。

当事者遺族の立場から

- 現時点で考えられる背景・要因
- 教育・保育施設における危機管理や組織体制づくり
- 機器を活用した対策の在り方
- 効果的なマニュアルあるの在り方
- 自治体に求められる対応

原因究明・検証の重要性



2012.7.20

事故発生

2012.7.24

事故検証
加茂川



2012.7.31

事故当事者・関係者対応

遺族対応について
継続的に対話ができる環境、体制が重要

なぜ、亡くなってしまったのか
なにが、起きたのか知りたい

迅速に、誠実に、正直に、
事故状況、現時点で説明できる事実を伝える

在園児、保護者対応も同様

特に、こどもさんが受けた衝撃は、計り知れません。
いつでも、話したい時に話せる状態しておくなど、
大人が見守り続ける環境を築いておくことが重要です。

科学的な理解と根拠に基づいたグリーフサポートの拡充

原因究明・検証の重要性

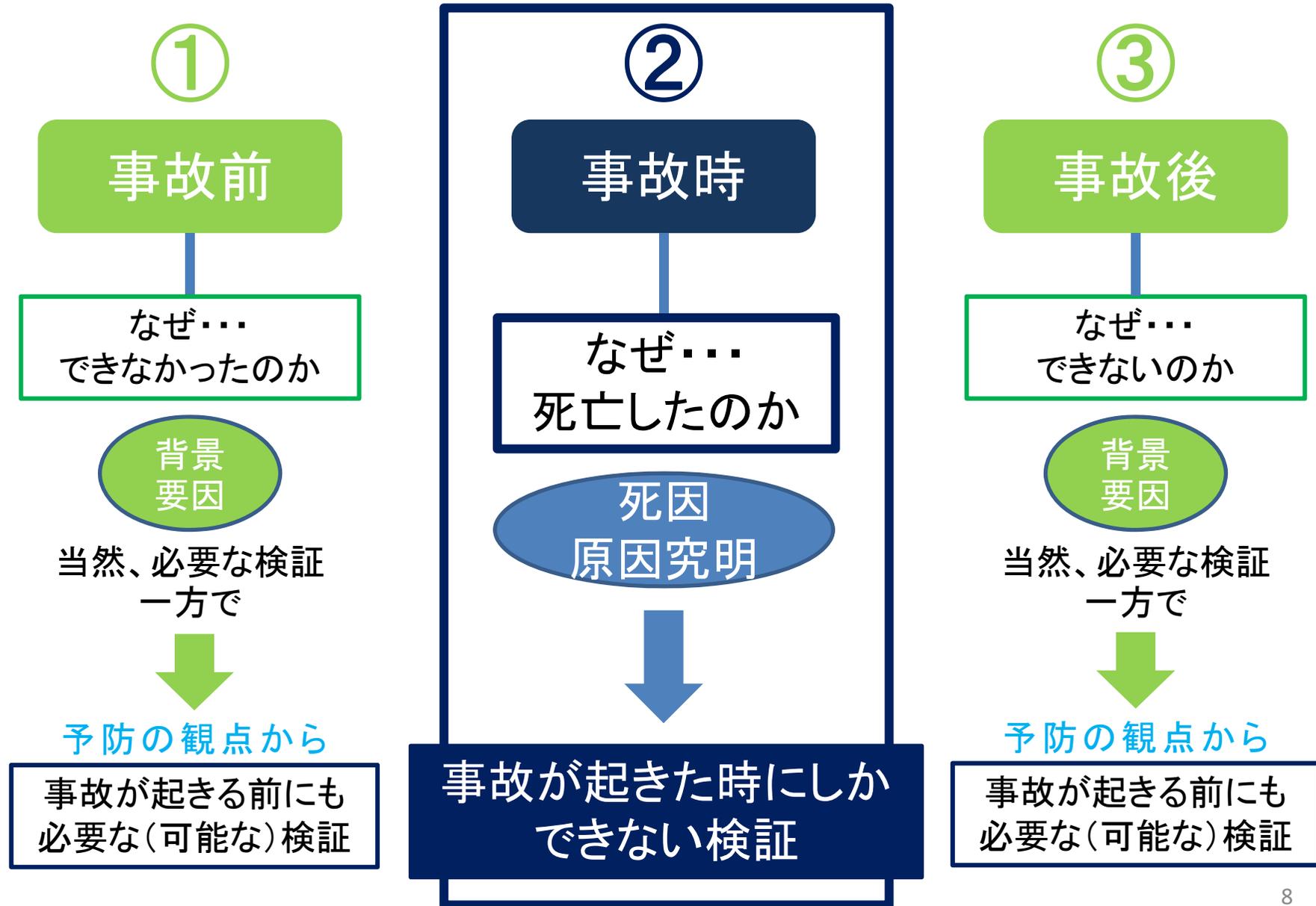
今回の事故について

過去に発生した送迎バス事故の教訓が、
この施設で全くいかされることなく事故が繰り返された

事故情報をどのように受け止めていたのか
過去の事故情報が、
安全管理の見直し・改善に繋がっていない

保育・学校管理下での事故に対する再発防止・未然防止の取組が不十分
仕組みや制度の構築は急務

原因究明・検証の重要性



事故の再発防止・未然防止を実現するために

2013年9月 いじめ防止対策推進法—重大事態に係る調査の実施
2016年3月 保育・学校安全・事故調査に関するガイドライン(2頁)

現行の保育・学校事故に関する 事故検証・第三者委員会の問題・課題

例:調査・検証方法、各自治体のホームページで掲載されている
保育・学校事故調査報告書、再発防止に向けた提言など情報の一元化等..

重要な課題

調査権限
委員の選定



事故再発防止を目的とした 専門的な検証機関の設置

例えば、運輸安全委員会のように事故発生時は
現場検証を行うことができる体制の検討

園長・施設長の責務

平成28年(2016年)5月30日 松山地方裁判所
刑事裁判判決文より

平成26年(わ)第81号 業務上過失致死傷(認定罪名:業務上過失致死)
http://www.courts.go.jp/app/files/hanrei_jp/977/085977_hanrei.pdf

◎園児の生命・身体を守る職務◎

◎ライフジャケット準備装着義務◎

園児らを引率して川遊びを予定していたのだから・・・

- 河川の危険性についての調査
- 上流域での降雨が水位などに影響するのは常識
- 上流域の天候を確認することは必須

遊泳場所が晴れていることで

安易に増水等の危険性がないと軽信した点は、
園児らを預かる幼稚園園長として安易な態度

事故の再発防止・未然防止を実現するために

様々な配慮が必要な保育に臨むことを義務付けられる
幼稚園教諭の
個々の能力や判断に即してみると、
園児の安全確保にとって、
必ずしも教諭個人に対する厳しい刑罰が
効果的であるとはいえず、
幼稚園における保育の実態を踏まえた
園外活動の種々のガイドライン等の作成や
事故事例に関する情報を
容易に利用できるような仕組み作り等といった、
個々の教諭の努力を超えた部分での安全対策がなければ
十分な安全確保とならない場合も起こり得るのであって、
そのような枠組みの中で
個々の教諭が十分な注意義務を果たすことが求められている

公的な課題

事故の再発防止・未然防止を実現するために

機器を活用した対策の在り方について

◎子どもの事故を防止するための環境改善・見守り・確認サポート

・センサーやモニターの設置

・保護者との共有と確認に関するルールづくり

※モニター設置に関して、

事故予防の観点から、ヒヤリハットの収集、
保育体制等の見直し、検証にも活用する。

万が一、

事故が発生した際には、客観的な状況把握、検証が可能
→保護者への説明も正確に行える

マニュアルの在り方について

・マニュアルを活用してもらう工夫が必要

・現場に伝わる表現、言葉の選択

・能動的に各施設に応じたマニュアルに仕上げるができるようにする

※送迎バスやスクールバスなどの安全基準について

事故の再発防止・未然防止を実現するために

教育・保育施設における危機管理や組織体制づくり

具体事例から

愛媛県西条市
事故の教訓をいかす取組
2012-2022

情報共有に関する取組 愛媛県西条市の取り組み

私立公立・保育園・幼稚園・小中学校合同連絡会 2012年～



アプリ
防災情報さいじょう
2017年～

防災情報さいじょう 更新
防災情報さいじょうスマホアプリをリリース

- 1 災害情報
- 2 緊急情報
- 3 河川水位
- 4 避難場所
- 5 降気情報
- 6 防災マップ



情報共有に関する取組 愛媛県西条市の取り組み

水辺の活動と安全を学ぶ
子ども安全セミナー
—日本財団 海と日本プロジェクト—
water safety!
後援:内閣府
NPO法人 Safe Kids Japan NPO法人 Love&Safetyおむむら
西条開催 2019年7月20日(土)13:00~16:00
保育・教育施設の安全—法律から考える
科学的な事故(傷害)予防
—水辺の活動と安全について—
ライフジャケットの装着について
レンタルステーションの報告
子どもたちにライフジャケットを!
子どもの命を守るためにできること
—司会進行:小佐井良太先生—
愛媛大学教授 日本子ども安全学会理事
子どもたちにライフジャケットを!
LOVE SAJO
まちへの愛が未来をつくる
SAFE KIDS
WORLDWIDE
JAPAN
内閣府
Cabinet Office
LOVE & SAFETY
日本財団
海と日本
PROJECT
一般社団法人
吉川慎之介記念基金
Hosonaka Shinpei Foundation



当事者家族・保護者・市民との協働

安全対策と子どもへの教育 愛媛県西条市の取り組み

2017年から海での手作りイカダ体験でライフジャケット着用が決定
西条市内すべての学校で川や海での教育活動の際には、
ライフジャケットを着用することになりました。

★ 事前授業の様子

★ イカダ体験の様子



安全管理に関する体制構築

愛媛県西条市の取り組み



地域全体での共通理解・認識

西条市

みんなで子どもを守ろう。

子ども安全セミナー 無料

2020 10/25 13:00-16:00

水遊びやアウトドア、部活に体育や園工の授業…子どもたちを取り巻くあらゆる場面に、さまざまなリスクが潜んでいます。今のあなたは、子どもを事故から守れるでしょうか。子どもの安全に関する知識と事故未然防止策を知り、現場で子どもたちのために活かすため、第一線で研究・活動する講師のお話を聞いてみませんか？

対象 保育園・幼稚園・小学校などで子どもに関わる職員、一般の保護者、地域の方

場所 会場：西条市地域創生センター3階大研修室（定員30人）
web：オンライン会議ツールZoom（定員50人）

申込 HPでまたはメール・ウェブフォームにて。FAXやメールでお申し込みください。
西条市地域創生センター Tel.0897-52-5156
Fax 0897-47-5156
E-mail: chikisosei@saijo-city.jp

「学校のリスクを見える化する：スポーツ障害から教育問題まで」
名取順子 西条市立西条小学校 校長 内田 良 氏

「e-Lifesavingの開発と実践から水辺の安全教育を考える」
成城学園中学校高等学校 保健体育科教諭 日本ライフセービング協会副理事長 松本 貴行 氏

「感染症対策について」 西条市消防本部 瀧尾 啓次 氏

愛媛県西条市と愛媛大学の地域連携事業 西条市「子ども安全管理士講座」開講

社会全体で子どもの命を育むために

広報さいじょう 2021 7
Let's enjoy our life in Saijo
楽しみと発見のある毎日を



水辺での笑顔を守る
着けよう！ 必ずライフジャケット

LOVE SAIJO

西条市

子どもの安全

を学びませんか？ ～子ども安全セミナーを開催～

日時 7月17日（日）13時～16時30分

内容 さまざまな場面での子どもの安全について学べる
4名の講師による講演（1コマ20～40分）

 <p>「約20年間の河川等における水難事故データをもとにした、事故の傾向及び具体の対策に関する調査研究等」 寶塚 一成 氏 （公益社団法人 西条市子ども水辺サポートセンター主任研究員）</p>	 <p>「ABC理論に基づく世界を変革するための児童参加型安全授業の実践」 大野 美喜子 氏 （国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人工知能研究センター）</p>
 <p>「みんなで作る学校安全」 金澤 良 氏 （学校法人 西条市立西条高等学校 教務主任、校長（現職））</p>	 <p>「加茂川の危険を伝えるために」 久保 一平 氏 （プロジェクト・クロスPOINT）オーナー）</p>

▶対象 保育・幼稚園・小学校などで子どもに関わる職員、一般の保護者・地域の方
▶場所 会場：西条市地域創生センター 3階大研修室（定員30名）
web：オンライン会議ツールZoom（定員50名）
▶申込 HP確認後FAXかメールでお申し込みください。
▶問合せ 西条市地域創生センター
TEL：0897-52-5156 FAX：0897-47-5156
メール：seisakukikaku@saijo-city.jp

詳細は！
QRコード

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、体調不良の方の参加はご遠慮ください。会場参加の方は、消毒やマスクの着用をお願いします。

主催：西条市 共催：愛媛大学地域協働センター-西条
後援：一般社団法人吉川慎之介記念基金、NPO法人 Love & Safety おおむら、Love & Safety さいじょう



小学校や保育施設等での水辺の安全教室

ライフジャケットレンタルステーション

川や海 水辺で遊ぶときは
ライフジャケット着よう！
＝ライフジャケット



子ども用ライフジャケット無料貸出中

西条市

成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針（令和3年2月）

Ⅱ 成育医療 等の提供に関する施策に関する基本的な事項

7. 成育医療等の提供に関する推進体制等

・ 各種施策に関する各地域の優良事例の横展開を通じた各地域の施策の向上

自治体レベルで実施されている事故の教訓をいかす取組や有効な再発防止策を、全国で共有・実施できる仕組みも必要

参考資料

別添資料1

日本子ども安全学会機関誌「子ども安全研究」第4号P26-p29

子どもの安全を「獲得」する一園外事故の訴訟を通して考える 山本雄一郎(弁護士)

別添資料2

日本子ども安全学会機関誌「子ども安全研究」第6号P26-p29

西条市子ども安全管理士講座とCDRの動向について

小佐井良太(愛媛大学)

別添資料3

日本子ども安全学会機関誌「子ども安全研究」第6号P30-p33

野外保育活動中の墓石転倒による死亡事故の調査から学ぶ

—死因理解のための遺族連携医療情報共有アプローチと工学的分析アプローチ—

西田佳史(東京工業大学)、宮崎祐介(東京工業大学)、山中龍宏(産業技術総合研究所)